

# 伊都中央高等学校（定時制）

実施日時	令和元年 6月28日（金）
参加者	生徒80名、教職員20名、 計100名
実施内容	防災講話、地震体験車「ごりょうくん」による地震体験、救急法、ロープワーク、土のう作り、炊き出し、防災スクールアンケート

## 事前の取組

6月21日（金） LHRで流れの説明

## 主なプログラム

8:30	<input type="checkbox"/> SHR(体操服更衣)点呼 体育館 <input type="checkbox"/> 体育館整列 <input type="checkbox"/> 防災スクール開講式(挨拶 川久保校長先生)			備考
9:00~9:30	防災講話 自衛隊和歌山地方協力本部 副本部長 合田直樹			
活動メニュー	① ロープワーク 「ごりょうくん」	② 救急法	③ 土のう作り	
9:40~10:30	1年	2年	3年	
10:45~11:35	3年	1年	2年	
11:45~12:15	2年	3年	1年	
12:15~12:25	<input type="checkbox"/> 講評（校長先生）			
12:25~12:40	<input type="checkbox"/> 各 HR 教室でアンケート <input type="checkbox"/> アルファ米の試食（12:30 頃） <input type="checkbox"/> SHR			

## 参加者感想文

- ・(防災講話について) 震災の時に自衛隊の人を頼るだけでなく、自分のことは自分で守ったり、近所の人たちと助け合わないといけないなと思いました
- ・(ロープワークについて) 去年できなかったけど今年はロープワークできるようになりました
- ・(救急法について) タオルをあててしぼることで止血できることが分かった 救急法を知ってる人が増えると、助けられない命も助けられることを学んだ
- ・(ごりょうくんについて) 体験では笑ってるけど、もし本当に地震が起こればって考えるとコワイと思った

- ・(土のう作りについて) 水を通さないよう隙間をなくすために、たたいたり、固めたりしないといけないけど、土の量が違うので調節することが難しかった
- ・(炊き出し試食について) 災害時はとてもリラックスできる味に感じた
- ・(全体を通しての感想) けっこう楽しかった 自衛隊の方々がすごくかっこよかったのと、勉強になってよかった 去年も同じように学習したはずが忘れていたので定期的に勉強して思い出さなきゃなあと思いました

## 成果と課題

防災事前学習を通して、生徒リーダーを養成し、防災講話を聞き、救急法、土のう作り、ロープワークなどを具体的に実践する中で、生徒一人ひとり、職員の災害ボランティア活動への意識をさらに高めることができた。今後も学校、家庭、地域、行政などの関係組織が連携し、地域防災意識の向上を図るとともに、学校を核とした地域との連携を通して、地域防災力を強化していく必要があると考える。

